

京都の福祉

発行 京都府社会福祉協議会



2011
1
No.506

本紙は、共同募金の
配分金によってつくられています。



主な記事

- 1面…もえくさ
- 2・3面…年頭のあいさつ・就職フェア京都2011
・人権擁護啓発ポスターコンクール
- 4・5面…1月17日は防災とボランティアの日
- 6・7面…きばってます！南丹市社協
- 8面…夢中！・熱中！ふくしびと

「おさんぽ だいすき」萩野保育士さんと明星保育園りす組(2歳児)のお散歩 (記事は8面)

もえくさ

新年、明けましておめでとございます。今年も、「もえくさ」をよろしく願います。▼①認知症で一人暮らしの高齢者(82歳)。わずかな年金を無計画に使い果たし、親戚・近隣住民や知人の支援を受けながら、なんとか暮らしてきたが、入院中だった精神疾患の娘が退院し同居予定。が、今後の暮らしの見通しはたす。②知的障害の夫と統合失調症の妻の夫婦に、認知症の母の3人暮らし。派遣労働で仕事が決まらない夫、妻と母との確執でトラブル絶えず。妻の精神不安が一層高まり、パニック状態。生活費の無駄使いがひどくなる。生活の建て直しが必要。③母と息子夫婦。3人とも難聴。母の認知症が進み、コミュニケーションがとれずトラブル絶えない。息子夫婦の母への虐待が始まる。▼これらの世帯は、福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)の活用に至ったケースであるが、特別に困難事例を選ん取り上げ、紹介したものではない。ある月の契約締結審査委員会で審議されたケースの一部である。府内の利用者のどのケースをとっても上記のように深刻な問題を抱えているのがほとんどである。▼これらの世帯は、まったくの「無援」ではない。ケースワーカーや地域包括支援センターなど、かかわりの度合いは別にして何らかの繋がりを持っている。しかし、どの機関も生活全般にわたっての支援は制度上、体制上限界があるとして、福祉サービス利用援助事業の利用に繋いでくる。紹介されるケースの多くはその抱えている問題が複雑で、単純ではない。いろんな問題が絡み合っており困難な生活問題となって現れてきている。したがって、当然であるが、福祉サービス利用援助事業も単独の支援で解決できるケースはない。だからこそ、関係機関が膝を突き合せ、お互いに持っている知恵と役割、領分と権限を駆使して問題解決に当たることが必要となってくる。しかし、その当たり前で、自明のことがあまりできていないのが現状だ。▼「保健・医療・福祉の連携」が叫ばれて久しいが、今日なお新たな課題として連携が強調されている。しかし「なぜできてなかったのか、できないのか」、その振り返りはできているのだろうかと思ったりする。事件は会議室で起こっているのではない、現場で起こっているのだ。の視点に立てば、現場での率直で真剣な議論がまず大事か。「機能」を働かす、生かすのは「人」である。人を大事にしないと機能しない。原点はそこにあるはず。



孤立を防ぎ府民生活の安定を目指して

京都府社会福祉協議会 会長 立石 義雄

を配置して取り組みを進めて
おります。

新年あけましておめでとう
ございます。
昨年は「無縁社会」という
言葉がクローズアップされ、人々
のつながりの希薄化や支え合
う仕組みが弱体化している様
相が全国各地で浮き彫りにな
りました。
100歳を超える高齢者の「所
在不明」問題、育児放棄や児
童虐待の報道等を耳にするたび
、地域での新たなつながり合い
を創り出していく取組みの重
要性を改めて感じた一年でした。
本会では中期計画のテーマの
一つに「社会的孤立を防ぐ仕
組みづくり」を掲げ、市町村
社会福祉協議会や民生委員・
児童委員など地域福祉の関係者
、社会福祉施設関係者、企業関
係者の皆様方と協働しながら
、その実現に向けて取り組んで
いるところでございます。
また、仕事を失うなどして
不安定な生活基盤に
置かれている方々に
対して、生活と就労
の両面から支援する
府独自の常設ワンス
トップサービス事業
「ライフ&ジョブカ
フェエ京都」に相談員

こうした活動が展開できま
すのは、京都府をはじめ関係
各位の温かいご理解とご支援
に加え、第一線現場の皆様方
の熱心なお取組みの賜ものと
深く感謝をしているところで
ございます。
中期計画最終年を迎える本
年は、これまで積み重ねてき
た事業をさらに発展させ、府
民の福祉向上と生活の安定に
寄与するよう努力してまいり
ます。
とりわけ、介護・福祉現場
の雇用確保と従事者の定着・
育成への取組み、失業等によ
り様々な生活課題を抱える中
で社会的孤立状態に陥る方へ
の支援は急務の課題となつて
おります。福祉人材確保関連
事業による総合的な人材確保・
育成事業を推進することや、
ライフ&ジョブカフェエ事業に
おける生活支援事業の実施、
高齢者日常生活支援事業など、
本会ならではの活動を積極的
に推進してまいります。
本年も昨年同様、ご指導、
ご協力をお願いいたしますと
ともに、新しい年の始めに当
たり、皆様のご健勝とご多幸
を心からお祈り申し上げます。

福祉職場就職フェア京都2011のご案内

～約120ブースが出展予定～

福祉の仕事を探している方、興味を持っている方を対象に、「福祉職場就職フェア京都2011」を開催します。今回は、社会福祉法人や病院、NPOなど約120ブースが出展予定です。また、当日併催イベントとして「介護・福祉のしごと魅力再発見フロア」を開催します。ぜひお誘い合わせの上、お越しください。

日時 平成23年2月5日(土)

12:30～16:00【受付時間12:00～15:30】

オープニングイベントを12:10から行います。

併催イベント「介護・福祉のしごと魅力再発見フロア」10:10～16:00

会場 京都市勧業館みやこめっせ 3階展示場

京都市左京区岡崎(地下鉄東西線「東山駅」より徒歩10分)

対 象／新卒・既卒・転職希望者(未経験者可)

出展者／京都府内の求人事業所

(社会福祉法人・病院・NPOなど)

主 催／京都府・京都府社会福祉協議会

京都府福祉人材・研修センター

協 力／きょうと介護・福祉ジョブネット

〈託児ルームあります〉

予約先：ちいさいブッテ(委託先) TEL 075-341-5150

受 付：1月28日(金)まで

【就職フェア】会場

- (1) オープニングイベント(12:10～12:30)
- (2) しごと相談・求職登録(12:30～16:00)
 - ・福祉の仕事「総合相談コーナー」
 - ・京都府福祉人材・研修センター「求職登録コーナー」
 - ・福祉の仕事「種別相談コーナー(高齢・障害・児童等)」
 - ・福祉の資格取得(キャリアアップ)相談コーナー
 - ・職場トライアル/京都府人材づくり派遣事業/就活学生職場体験事業相談コーナー
- (3) 福祉の仕事ミニセミナー(13:30～15:15
各15分×4コマ)

*会場の舞台において、就職フェアと就職活動に関する情報や案内をセミナー形式で講演します。

【併催イベント】会場

「介護・福祉のしごと魅力再発見フロア」

- (1) 介護・福祉の仕事入門講座(10:10～11:00)
- (2) 就職フェアの攻略法(11:10～11:50)
- (3) 先輩職員からのメッセージ
高齢者施設職員による「先輩からのメッセージ」
(10:10～11:00)
障害者施設職員による「先輩からのメッセージ」
(11:10～12:00)
- (4) 看護職のためのセミナー
「介護・福祉職場における看護職の役割とワーク・ライフ・バランス」
(12:30～14:00)
- (5) その他、法人PRポスターや福祉・看護職の仕事パネル展示など

国民文化祭で伝えよう、京都のこころ

京都府知事 山田 啓二



府民の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年の春、多くの府民の皆様からご信託を賜り、府政のかじ取りを引き続き担わせていただくこととなりました。皆様からいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、よろしく願います。

振り返りますと、昨年は、国内外で大きな事件が起きる中、急速に進んだ円高などにより、厳しい経済・雇用情勢が続ぎ、決して明るい年ではありませんでした。しかも、これから私たちは、経験したことのない高齢社会や、中国の急速な発展などの国際化に直面していくだけに、多くの皆様が日本はどうなるのだらうという、将来に対して漠然とした不安を覚えているのではないかと思います。

しかし、こうした時代だからこそ京都の価値が輝きます。京都府には素晴らしい人の力があります。伝統と文化の蓄積があります。力を合わせて難局に向かう「こころ」があります。どの地域にも負けないものを私たちは持っています。それだけに京都府の役割も重要です。時代や社会情勢の激しい変化に的確に対応し、京都の主役である府民の皆様がその力を十分に発揮できるように、私たちは必要な環境を整えなくてはなりません。そのために、府政運営の基本となる条例や計画からなる「明日の京都」を昨年末に策定いたしました。ぜひ一度目を通してください。「明日の京都」を踏まえ「だれもがしあわせを実感できる希望の京都」の姿を府民の皆様と共有し、新しい時代に向かってともに歩んでいきたいと思っております。

そして「明日の京都」のスタートに当たる本年は、京都の力の源泉である「ほんまもん文化」をさらに高めるため「京都文化年」とし、10月の「第26回国民文化祭・京都2011」をメインにさまざまな催しを企画いたしました。「国民文化祭」・・・聞き慣れない言

葉かもしれません。京都に全国各地で文化を愛する人たちが集まり、各地で交流しながら、日頃の成果や実力を披露する国内最大の文化祭典であり、音楽、舞踊、演劇、美術、文芸などの芸術から伝統文化や生活文化など本当に多くの催しが、期間中、府内各地で次々と繰り広げられます。

京都の国民文化祭のテーマは「こころを整える」文化発心（はつしん）です。私たちはこの殺伐とした時代に、何よりも、こころを大切に京都の文化が次の世代を担う若者に受け継がれていくことを願っています。そのために、まず大人が国民文化祭に関心を持つて参加していただくことを心から願っています。

ぜひ新しい年を京都が、文化という先人たちによって培われてきた私たちの未来を示す「灯り」によって、さらに輝ける年にしていきたいましよう。京都から全国へ、そして世界へ「京都のこころ」を発信し、希望の持てる「明日の京都」へとつなげていきましよう。

この一年の、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

京都府社会福祉協議会 会長賞決まる!

人権擁護啓発ポスターコンクールは、府内の小・中・高校・特別支援学校及び外国人学校の児童・生徒が、人権をテーマとしたポスター（絵画）の制作を通じて基本的人権について一層理解を深め、人権尊重の精神を養う機会とするため、昭和59年度から実施しています。平成22年度のコンクールには、219校から6,471点の応募があり、下記の作品が京都府社会福祉協議会会長賞に決定いたしました。



森 華乃(もり はなの)さん京都市立西院小学校6年の作品

(審査委員寸評)

画面から子どもの素直な心の声が聞こえてきそうな作品です。すべての子どもは家族や身近な人たちから守られ、大切に育てられなければならないということを訴えているようです。優しい色遣いや丁寧な塗り方などの表現からほのぼのとした感じもします。

平成22年度

人権擁護啓発
ポスターコンクール

作品は、京都府ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/jinken/1290567164331.html> でも見ることができます。

1月17日は防災とボランティアの日

京都府災害ボランティアセンター 府内市町村災害ボランティアセンター の取り組み紹介！

平成7年に起こった「阪神・淡路大震災」の経験を踏まえ、平成7年12月5日の閣議了解により、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日から1月21日までが「防災とボランティア週間」として設けられています。これらは広く国民が、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、災害に対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害を軽減することを目的としています。この週間に合わせて、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動の普及のための行事が全国的に実施されます。そこで、今回は京都府災害ボランティアセンター並びに京都府内の常設の災害ボランティアセンター（福知山、宇治、精華）の災害時に備えた日頃の取り組みをご紹介します。

京都府災害ボランティアセンター

「府内外関係団体・機関とのネットワークづくりを進める」

京都府災害ボランティアセンター（常設）は、災害時に行政・社会福祉協議会・NPO・ボランティア団体等が協働し、それぞれの「被災された方々を支援したい」という思いをとりまとめ、被災者支援のためのボランティア活動として、効率的・効果的に実施していくことを目的に平成17年5月に設立したものです。

当センターは、災害発生時に被災地内外でのボランティア活動の実施・支援等にあたるほか、日常的には各構成団体の連携・ネットワークづくりに努め、人材養成・防災訓練への参加などを行っています。さらに、他府県の公的機関やNPOとも普段から密接に連携しています。

今年度から新たな取り組みとして、広く

災害や防災・減災、そして災害ボランティアについての情報を提供し、みなさんに災害について考えていただけるきっかけとなるように、京都三条ラジオカフェ（FM79.7MHz）で「さい V o ランチ」明日に備えるラジオ」という番組を10月18日より放送を開始しています。

平成23年3月までの放送予定は、1月10日、24日、2月7日、21日、3月7日、21日（隔週月曜日）となっています。放送時間帯はいずれもお昼の12時～12時30分です。ぜひ、ご聴取いただき忌憚のないご意見をお待ちしております。

宇治市災害ボランティアセンター

「当事者組織を交えた訓練で防災意識を高める」

宇治市災害ボランティアセンターは、平成20年3月に宇治市社会福祉協議会の中に設置され、加入団体（学区福祉委員会、民生児童委員協議会、障がいのある人たちの当事者組織、特定非営利活動法人など）の中から選ばれた運営委員と宇治市社会福祉協議会が協働で運営をしています。

今年度は平成21年度に作成した「宇治市災害ボランティアセンター運営の手引き（ポイント）」を基に検証訓練を12月12日（日）

に行いました。師走の寒い日にもかかわらず、加入団体から約70名の参加をいただいたほか、コミュニティラジオであるエフエム宇治放送株式会社にもご協力をいただきました。炊き出し訓練も行い、訓練終了後の振り返りの時間には、非常食の試食も行いました。

このような訓練では、多いときには100名を超える参加があります。参加者からの気づきの中で災害時の運営面での反

省を得ることも多いのですが、何よりも参加者から「今回の訓練の反省を自分の団体に伝えて、災害時に協力できることは何かを探したい」、「障がいのある方への理解なども町内会や自治会で考えないといけない」と改めて思った。「自分たちの得意とすることを活用して訓練の企画が一緒にできないか」という積極的な意見をいただいています。また、学区福祉委員会では災害というキーワードを元に、避難所宿泊体験などを行い、地域のつながりの再発見につなげる活動も生まれてきました。

今後は、加入している団体の「強み」をより生かして、つながりを深め、社協や地域活動のサポーターとなっていただくことにつなげていきたいと思っています。



非常食の試食（宇治市）

宇治市災害ボラセンHP <http://uji-saigai-v.net>

精華町災害ボランティアセンター

「実践に即した訓練で災害に強いまちづくり」

精華町は京都府南西部に位置し、奈良県と大阪府に近接した学研都市開発が進む地域としての性格を持つ反面、一方では昔ながらの農村型コミュニティが点在し、新旧混在のコミュニティ特性を併せ持った地域です。また、近年大規模な災害に被災したことがない地域であるため、災害に対する取り組みが遅れているのが現状です。

精華町災害ボランティアセンターは、平成20年10月から常設の災害ボランティアセンターとして設置・運営しています。

役割としては、災害発生時に被災者・被災地支援のためのボランティア活動を効果的・効率的に行うための災害復興支援機能と、平時時は地域住民へ災害についての講座や災害ボランティアの登録、災害ボランティアコーディネーターなどの養成をおこなっています。

災害はいつ起こるかかわからず被災した地域は「まさか自分の地域が・・・」という声をよく聞きます。精華町では幸いなことに大きな災害は起こっていません。災害が起こってから出来る事は限られています。災害が起きる前の今なら様々な準備が出来ると考えています。

精華町災害ボランティアセンターでは、地域住民に対して平時時から災害や防災に関する講座の開催や、災害ボランティアセンターの設置・運用訓練など実践に即した訓練などを通して「災害に強いまちづくり」を目ざして日々活動しています。

福知山市災害ボランティアネットワーク連絡会

「ボランティア活動をとおして
災害時に備えた取り組みを考える」

平成16年の23号台風の予期せぬ大きな被害の後、合併前の市町協は、各地から駆けつけた多くのボランティアにご支援をいただき、手探りで災害ボランティアセンターを立ち上げ、運営していく中で多くの事を学びとらせていただきました。

その経験から、日頃からの関係者とのネットワークや平時時・災害時に活動いただけるボランティア活動者の把握の必要性を感じ、平成18年9月に13団体連携による「福知山市災害ボランティアネットワーク連絡会」を立ち上げました。

その後、幸いにも大きな災害はなく、ネットワーク連絡会や社協役職員が災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や図上訓練、

防災講座等により、平時時から備える体制づくりに取り組んでいます。

訓練については、年々内容を更新し、今年度は、災害ボランティアの活動と地域住民が協働（コラボ）することで防災力を高め、災害に備えることを目的とした「ちいきモットコラボin災害ボランティア」を題した、地域住民を巻き込んだ体感イベントを三和地域で開催しました。

ネットワーク連絡会や社協職員の理解を深める訓練に留

まらず、地域の方で災害を乗り越える体験を盛り込んだ訓練イベントには、早朝から多くのみなさんが参加され、体験をとおして改めて日頃の取り組みの必要性を感じ取っていた。災害・防災に対する地域力を高めていくことへの大きな一歩になったのではないかと思います。

現在のネットワークをさらに大きく、より強くしていくために、市内の隅々まで活動を浸透させるとともに、同じ地域性のある他市との広域連合をも視野に入れた新たな取り組みの構築をしていくことが第2の到着点と考えています。



親子災害ボランティア体験（精華町）



ボランティアセンター立ち上げ訓練の様子（福知山市）

他の活動の詳細については「京都府災害ボランティアセンターHP」をご覧ください。
http://fu-saigai-v.jp/saigaiv/cgi-bin/saigaiv.cgi?template=topics_index.html

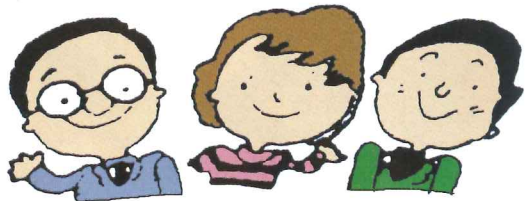
「そのぬくもり」
協議会 設立10周年記念



当日の受付の様子

きばってます!

～市町村社協の取り組み紹介～



南丹市

設立10周年を迎えて

美山町ボランティア連絡協議会

行事の計画・準備のために、実行委員会の会議が何度も開かれました。和気あいあいとした雰囲気の中、「お祝いなので、来場者にお赤飯を配ろう」「中学生にも参加してもらおう」など、次々とアイディアが出されていきました。

記念誌も、歴代のボラ連会長や各ボランティアグループから寄稿してもらい、素敵な冊子に仕上げることができました。

11月20日(土) いよいよ10周年記念行事の本番を迎えました。会場の美山文化ホー

ルには、美山町内や南丹市内各町から大勢のボランティアが集まりました。開会行事・式典に続いて、「ありがとう そのぬくもり」をテーマに、10年をふりかえるパネルディスカッションを行いました。3つのボランティアグループ(暮らしの応援美山手をつなぐ会、手芸ボランティアほのぼの、人形劇団そらまめ)からそれぞれ活動をふりかえってお話いただきました。また、美山中学校ボランティア部の学生2名もパネルディスカッションに参加してもらいました。「ボランティアに参加することで、あたたかい心やたくさんさんの学びをもらっている。」など、感想を話してくれました。

パネルディスカッションの合間には、今年度「少年の主張」京都府大会で知事賞を受賞した美山中学校3年生の学生さんにも発表をしてもらい、会場中が感動しました。パネルディスカッションを通じて、次のことを学びました。

ボランティアの「代弁性」



地域でどんな課題があるか、どんな取り組みが必要か、日々のボランティア活動から発見し、発信していくことが重要である。支援を必要としているながら、自分からは声をあげられずにいる人が身近にいれば、代

わりに声をあげて必要な制度やサービスにつないでいくことも、ボランティアの重要な役割である。

「自助」「共助」「公助」のバランス



地域における福祉の充実のためには、家族や親戚の支え、地域のたすけあい、公的な制度・施策、これらすべてが不可欠であり、これらをバランスよく確保していくことが大切である。公平性を重んじる行政の基礎的支援と、個別の状況に応じて柔軟に対応できるボランティアの支援の双方が必要。

「地縁」×「テーマ型」活動



地域のつながり(地縁)と、個別の課題に対応する(テーマ型)活動をうまく結び付けながら、地域の福祉活動を充実させていくことが大切である。

後継者問題



ボランティアの後継者問題に特効薬は無く、それぞれのグループで後継者をつくっていくのは難しい事だが、町全体で見たと



ボランティアの「無償性」ということは、お金を全く介在させない、ということではない。活動をしっかりとやっていくためには資金も必要。自分たちの活動の目的、それを継続していく意味を常に確かめながら、そのために必要な資金をどう確保していくか、ボランティア連絡協議会のような組織で一緒に考えていけることが望ましい。

午前中の10周年記念行事に続いて、午後

活動資金の問題



きにボランティアの思い・精神が世代を越えてしっかりと伝わっていくことが大切である。



からは、毎年恒例の「南丹市ボランティア交流会」（主催：南丹市ボランティアバンク運営委員会）が開催されました。南丹市に合併してから毎年一回、各町（旧八木町、旧園部町、旧日吉町、旧美山町）のボランティアが一堂に会して交流をします。今回は16歳のときに交通事故で車いす生活になったシンガーソングライターの森圭一郎さんのトークコンサートが行われました。様々な葛藤を乗り越えて来られた森さんのメッセージや、元氣いっぱいいの歌声に多くの人が励まされました。

10周年記念とボランティア交流会の2つの行事で大いに盛り上がった1日となりました。後日、美山町ボランティア連絡員のふりかえりでは、次のような感想が聞かれました。

「実行委員一人ひとりが持ち味をいかして、それぞれ得意なところで役割を果たしてくれた。」「モチベーションが高く、会議が多くても苦でなかった。」「自分たちでつくりあげたという達成感がある。やりきった満足感でいっぱい。」

ボランティアみんなで自発的に、自分たちのできることをそれぞれ發揮して、まさに「ボランティアパワー」で10年の節目を盛大にお祝いすることができました。中学生の参加を得て、世代を越えた交流のきっかけができたことも大きな収穫でした。この取り組みを通じてより一層深まったボランティア同士の絆で、今後ますます素敵なまちづくりがすすんでいくことを確信しています。

しせつの損害補償 プラン1。施設の業務中事故賠償補償②

●ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>



個人情報漏えい対応補償

この補償制度では、施設利用者の個人情報を漏えいし、施設（法人）が法律上の賠償責任を負った場合（おそれのある場合も含みます）の損害賠償金等を補償します。またこの補償は、社会福祉施設を運営する社会福祉法人のみを対象としています。

◆補償金額

	Aタイプ
第三者への損害賠償に関する補償*	
○損害賠償金 ○訴訟費用	3,000万円
ブランド価値のき損を防止・縮減するための補償*	期間中 100万円
○クレーム対応費用 ○見舞品購入費用等	
免責金額（自己負担額）	0円

◆年額保険料（掛金） 保険期間1年

法人で運営している施設定員数	Aタイプ
～50名	27,000円
51名～100名	34,000円
101名～150名	41,000円
151名～200名	48,000円
以降1名～50名増ごとに	4,000円

補償内容

- 第三者への損害賠償
- 弁護士費用等の訴訟費用
- ブランド価値のき損を防止・縮減するための費用

※介護老人保健施設、有料老人ホームおよび病院は補償対象となりませんので定員数には入りません。

※訪問介護など利用者の自宅で行う居宅サービスなどの利用人数や施設の職員数は合算する必要はありません。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記をお願いします

団体
契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

取扱
代理店

株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約（個人情報取扱事業者賠償責任保険）です。〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン

* 第三者への損害賠償に関する補償およびブランド価値のき損を防止・縮減するための補償は、縮小して補割合90%でお支払いします。〈SJ09-08939, 2010/02/19〉



施設名：社会福祉法人宇治明星園 明星保育園
氏 名：萩野 ひとみ
職 種：保育士
経験年数：19年

好きな言葉：一生感動・一生青春
うつくしいものを美しいと思える。
そんなところをもてる人でありたい
と思っています。
夢中になっていること：
いかに「若さ」を保つか。無料サン
プルにとびつきお試しすること。

の自然を体感し、いつもこどもと一緒にあきることなく、こどもの世界を楽しみました。自然の中で感性を揺さぶり、人との結びつきを大切に
にする保育、そして自分の持ち味をいっぱい発揮できる、そんな素敵な保育園でいつしか19年が過ぎました。日々、こどもたちと過ごす中でいろんな人となりがあいい、自分自身も育てられていることを実感し、そして今もその当時の熱い気持ちを忘れていません。

夢中!・熱中!ふくしびと

～だから続けたい この仕事～

福祉の現場で働く人たちの熱い想い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で「熱い福祉」を「夢中」で実践している方々にスポットをあてて、元気や楽しさ、やりがいを「生」の声でお届けします。

日々こどもたちの息吹を感じて

明星保育園 保育士 萩野 ひとみ さん

短大を卒業し、小さい頃から憧れの「幼稚園の先生」になりましたが、何か物足りなさを感じ2年で辞めました。しかし、こどもと関わる仕事をしたいと思い、いくつかの公立保育園でアルバイトをしていた時、明星保育園に採用されました。

当時はアルバイト、嘱託職員、正規職員といろいろな職種の職員がおられました。保育に携わるもの同士、垣根なく、また、あてにされることでがんばることができました。

「保育士である限り、プロである限り、こどもと仕事には前向きで誠実であること」という先輩の言葉とその背中を思い出しながら生命をいっぱい輝かせているこどものたちの願いにこたえられるよう、どの子も大切に、これからも丁寧に「仕事（保育）」をしていきたいと思っています。



京都の福祉 毎月1日発行

発行所 京都府社会福祉協議会
発行人 宮本 隆司

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375
TEL 075-252-6291 FAX 075-252-6310
URL <http://www.kyoshakyo.or.jp>

「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せ下さい。表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)

本会へのご意見等は、左記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

